

媒体名

健康産業新聞

掲載日

2009年7月3日

タイトル

海外情報 「注目シンバイオ素材 -プロピオン酸菌-」

注目シンバイオ素材「プロピオン酸菌」 仏より輸入販売

ニュートリション・アクト

(株)ニュートリション・アクト（東京都港区）が輸入展開しているプロピオン酸菌の開発メーカー、フランスのCGD社の社長がこのほど、同社の製品『プロピオフィズス』のプロモーションのため来日した。同社が開発した製品、『プロピオフィズス』はCGD社が保有する400種類のプロピオン酸菌株の中からセレクトしたビフィズス菌の増殖活性の最も高い2種類のプロピオン酸菌株の混合粉末となる。

フランスCGD社としては初のアジア進出となる日本市場について、同社社長のLEPLEY-LEGRAND氏は、「日本はヨーグルトなどプロバイオティクス市場をはじめ機能性食品のマーケットが大きく、革新的なものが受け入れられやすい土壌がある」と分析。日本総代理店を(株)ニュートリション・アクトが務める。

CGD社は2001年に食品機能性素材として『プロピオフィズス』をEU市場に上市。



◀ プロピオン酸菌の開発メーカー・仏CGD社・社長、LEPLEY-LEGRAND氏

既に世界の80%の市場シェアを持つチーズ製造の際に

利用する既存の産業用途とは別に、機能性食品用途向で展開している。LEPLEY-LEGRAND氏は「人々が個々に持っている固有の腸内ビフィズス菌を顕著に増やす独特の機能性がある。生きたまま腸に届き、腸内のビフィズス菌を増やすプロバイオ、プレバイオ両方の機能がある『シ

ンバイオティクス』という新概念を提唱している」という。同素材については、18名を対象としたヒト試験を実施。腸内ビフィズス菌を約10倍に増やす知見が得られている。

『プロピオフィズス』はEUの栄養表示・ヘルスクレームに関する基本法「Nutrition and Health Claims Regulation（栄養・健康表示規則）」についてヘルスクレームを申請中。現在、同規則に基づいてEFSA（欧州食品安全機関）が健康強調表示を検討している食品成分はおよそ4,500件で、来年1月末までに表示可能なポジティブリストが公表される予定となっている。